学校番号	211

令和８年度　理科（化学）

教科	理科	科目	化学	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校　化学（啓林館）						
副教材等	セミナー化学基礎＋化学 フォローアップドリル化学③						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学基礎で学んだ内容をさらに発展させ、日常生活の中で起こるさまざまな自然現象に興味をもち，その法則性について考える態度を持つこと，疑問に思ったことを確かめてみようという態度を持つこと，学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

2　学習の到達目標

物質とその変化への関心を高め，目的意識を持って観察，実験などを行い，化学的に探求する能力と態度を身につける。また，化学基礎の内容を発展的に理解し，科学リテラシーを醸成する。「物質の状態と平衡」では三態変化とその法則を学習し，「物質の変化と平衡」では熱化学、電池と電気分解、反応速度、化学平衡を理解し，「無機化学」では、身の回りの単体や化合物を中心に多種多様な変化について系統的知識として身につける。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a 知識・技能	b 思考･判断･表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質の構造や変化について、基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	物質の変化に関する事物・現象の中に問題を見いだし､探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質の構造とその量的関係について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td>物質の状態と平衡</td><td>・状態変化
・固体の構造
・気体の性質
・溶液</td><td>a: 物質の三態変化について理解し、用語や法則を身につけている。関係式を使って計算ができる。
b: 三態変化などについて法則の相互の関係性を見出し表現できている。
c: 自ら進んで状態の変化や法則性について考え、関心を持ち、主体的に探求しようとしている。</td><td>テスト
ワークシート</td><td>テスト
レポート</td><td>ノート
レポート
発表</td></tr>
<tr><td rowspan="2">物質の変化と平衡</td><td>・化学反応と熱・光エネルギー</td><td rowspan="2">a: 熱化学や反応速度、平衡の定義や法則を知識として整理し、日常と関連づけ身につけている。
b: 量的関係や規則性や関係性を見出し、説明できている。
c: 自ら進んで課題に取り組み、主体的に探求心を持って主体的に探究しようとしている。</td><td rowspan="3">テスト
ワークシート</td><td rowspan="3">テスト
レポート</td><td rowspan="3">ノート
レポート
発表</td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>・電池と電気分解
・反応の速さとしくみ
・化学平衡</td></tr>
<tr><td>3学期</td><td>無機化学</td><td>・周期表
・非金属元素
・金属元素</td><td>a: 身の回りの単体や化合物の多種多様な反応や変化を統計的知識として身に着けている。
b: 無機物の反応を横断的に考え、関連性を見出すことができている。また、見つけた事項について他者とも共有できる。
c: 自ら進んで課題に取り組み妥協していない内容になっている。</td></tr>
</table>

※表中の観点について

a:知識・技能　　b:思考･判断･表現　c:主体的に学習に取り組む態度